

株主のみなさまへ

花王株式会社 中間事業報告書

2004.4.1~2004.9.30



“お客さまと共に感動する会社”をめざして

中間決算の概況

当中間期の連結売上高は、4,690億円（前年同期比104.9%）となりました。円高による海外売上高の換算為替差（69億円の減少）の影響を除くと、前年同期比106.5%となります。

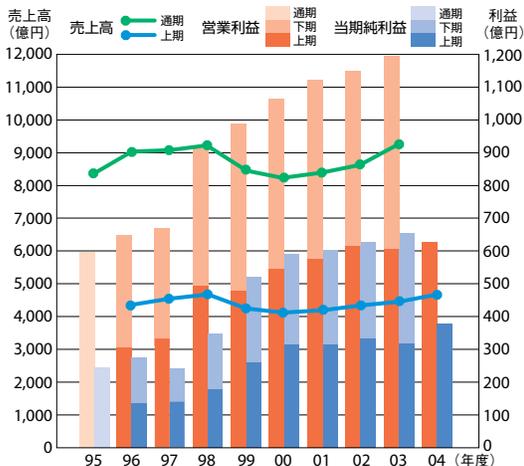
国内事業の売り上げは、前年同期比106.4%となりました。家庭用製品では、市場での競争激化による販売価格の低下の影響を受けましたが、高付加価値型新製品の発売及び積極的なマーケティング活動による既存事業の育成で、売り上げを拡大しました。工業用製品では、

国内の景気回復の影響や、新規開発製品の伸長により売り上げは好調に推移しました。

海外事業の売り上げは、アジアの家庭用製品が厳しい市場競争の影響を受けて減少しましたが、欧米の家庭用製品と工業用製品は順調に推移し、前年同期比102.7%となりました。

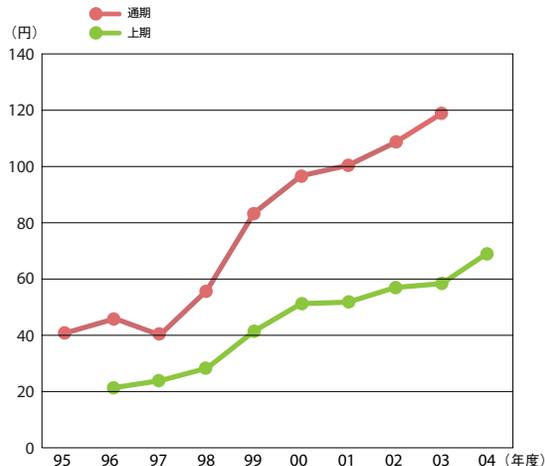
連結営業利益は624億円（前年同期比103.1%）となりました。国内事業では、新製品の発売や既存事業強化のための積極的なマーケティング活動を実施するとともに、コストダウンや費用の効率的な活用を推進しました。その

◆ 連結売上高・利益の推移



(注) 上期の連結売上高・利益は96年度分より算定しております。

◆ 連結1株当たり純利益の推移

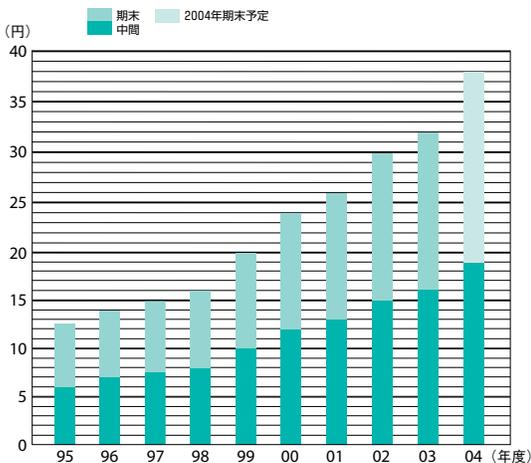


(注) 上期の連結1株当たり純利益は96年度分より算定しております。

結果、営業利益は前年同期に対して15億円増加の559億円となりました。一方、海外事業の営業利益は、原料価格の上昇やアジアの家庭用製品の売り上げ減少などによる影響を受けたものの、アジアの工業用製品や欧米の家庭用製品が好調に推移したこともあり、前年同期より微増の65億円となりました。

連結経常利益は646億円（前年同期比104.2%）、連結中間純利益は377億円（前年同期比118.2%）となりました。営業外損益では、持分法利益が増加したこともあり、前年同期か

◆ 1株当たり配当金の推移



平成16年11月

花王株式会社

代表取締役
社長執行役員

尾崎 元規

ら改善しました。また、特別損益では、前年同期に計上した土地の評価損が当中間期はなくなり、損失は減少しました。

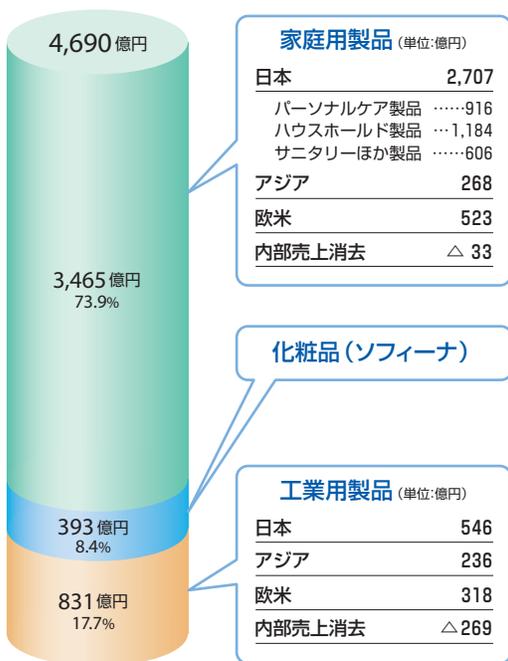
当期の中間配当金は、当初の予定通り、前年同期より3円増配の1株当たり19円とさせていただきます。

経営の基本姿勢

当社は、世界中の人々の豊かな生活文化の実現に貢献することを使命としております。この使命を果たすべく、大きな変化を遂げつつある消費者の暮らしの現場を直視し、その変化の本質をとらえた“よきモノづくり”を実行してまいります。

当社の製品を使っていた消費者の“喜び”は、そのまま私たちの“喜び・感動”となり、さらなる“よきモノづくり”のエネルギーを与えてくれます。当社は、“お客さまと共に感動する会社”をめざして、今後とも積極的な事業活動を展開してまいります。

◆ 中間連結売上高構成比



(注) 1. 記載金額は、億円未満を切り捨てて表示しております。
2. グラフの売上高は、外部顧客に対する売上高を表示しております。

今後の経営施策

(1) 既存事業の強化・発展

当社の既存コア事業である家庭用製品の市場においては、引き続き販売価格の低下に歯止めがかかっていない状況に加え、原材料価格の上昇もあり、厳しい事業環境となっております。

このような事業環境の下、当社は収益の柱である基幹ブランドのシェアの拡大を図るべく、戦略的・集中的な経営資源の投入を行うとともに、TCR活動の一層の徹底によるコストダウンにも努めております。

また、昨年10月に発売し、前期の売り上げに大きく貢献したヘアケアブランド「アジエンス」のように、消費者に新しい価値を提案するような新製品の開発にも努めてまいります。



▲髪芯からしなやかな洗い上がりで好評な「アジエンス」

(2) 新規事業分野の開拓と早期育成

新規事業分野につきましては、消費者の健康志向の高まりにしっかりとフォーカスし、当社

が長年培ってきた技術力を活用したヘルスケア事業で、健康機能油「エコナ」とお茶飲料「ヘルシア」の両ブランドが大きく成長してまいりました。この分野は、当社の今後のさらなる発展のための推進力となる分野であり、研究開発、生産、マーケティング、販売等、各部門の力を結集し、全社を挙げて取り組んでまいります。

また、社会の高齢化の流れに伴って、消費の大きなウェイトを占めつつある高齢者向けの事業につきましても、従来から行っている介護ケア事業を中心に注力してまいります。

(3) 海外事業の拡大・強化

欧米の家庭用製品事業につきましては、「ジャーゲンズ」、「ジョン・フリーダ」及び「ゲール」を柱として、事業面の統合を果たした花王ブランド社が、“プレミアムビューティケア”に照準を合わせた展開で、着実に業績を伸



発売当初から売り上げが好調なジョン・フリーダの新しいプレミアムヘアケア製品

ばしております。

アジアの家庭用製品事業につきましては、アセアン地域、中国ともに市場環境の変化が激しく、課題を多く残しているのが実情です。しかし、これらの地域は将来にわたる成長市場であると見込んでおり、今後とも海外事業における最重点地域と位置付け、各国・各地域の市場や消費者の実態を今一度見つめ直した上で、積極的な事業展開を図ってまいります。

また、工業用製品事業につきましては、当社において最もグローバル展開の進んだ事業であり、今後とも欧州・米国・アジアの各地域において油脂、界面活性剤及びスペシャルティケミカルズの3つの大きな分野で、着実な成長・発展を図ります。

当社はまた、広く社会の一員として、企業の社会的責任（CSR:コーポレート・ソーシャル・レスポンスビリティ）活動の面においても、より一層の充実を図るべく、今年7月にCSR委員会を発足させ、全社的な取り組みを行っております。

株主の皆さまにおかれましては、こうした当社の姿勢に何卒ご理解をいただき、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

財務報告の要約 (記載金額は、億円未満を切り捨てて表示しております。)

◆ 中間連結貸借対照表

(単位:億円)

資産の部	当中間期	前期	負債、少数株主持分 及び資本の部	当中間期	前期
	平成16年9月30日現在	平成16年3月31日現在		平成16年9月30日現在	平成16年3月31日現在
流動資産	2,991	3,072	流動負債	2,192	2,098
現金及び預金	534	724	支払手形及び買掛金	744	684
受取手形及び売掛金	1,018	973	未払金	217	218
有価証券	385	368	未払費用	653	645
たな卸資産	790	718	未払法人税等	212	195
その他	262	287	その他	364	355
			固定負債	359	640
固定資産	4,137	4,165	社債及び長期借入金	92	318
有形固定資産	2,646	2,599	その他	266	322
建物及び構築物	917	920	負債合計	2,552	2,739
機械装置及び運搬具	823	834	少数株主持分	76	221
土地	635	641	資本金	854	854
その他	270	202	資本剰余金	1,095	1,088
無形固定資産	938	983	利益剰余金	3,443	3,998
商標権	479	515	その他有価証券評価差額金	34	43
その他	459	468	為替換算調整勘定	△ 390	△ 379
投資その他の資産	552	582	自己株式	△ 536	△ 1,328
繰延資産	0	0	資本合計	4,500	4,277
資産合計	7,129	7,238	負債、少数株主持分及び資本合計	7,129	7,238

(注)有形固定資産の減価償却累計額

当中間期 7,582億円 前期 7,554億円

●株主資本比率 当中間期 63.1% 前期 59.1%

●自己株式消却 当中間期 25百万株 637億円

ポイント

総資産は、前期末に比べ109億円減少しました。流動資産では、法人税等や配当金の支払いなどのほか、自己株式の市場買付を行ったことにより現金及び預金が減少しました。固定資産では、新製品対応などの設備投資により有形固定資産は増加しましたが、商標権などの償却が進んだことにより無形固定資産が減少したほか、投資その他の資産に含まれる繰延税金資産が減少しました。

ポイント

負債は、転換社債の転換や企業年金基金への拠出の増加などにより、前期末に比べ187億円減少しました。少数株主持分は、花王販売株式会社を株式交換により完全子会社化したことで減少しました。株主資本は、自己株式の市場買付による減少もありましたが、中間純利益が順調であったほか、上記の転換社債の転換や株式交換などにより前期末より222億円増加しました。

◆ 中間連結損益計算書

(単位:億円)

科 目	当中間期	前年中間期
	平成16年4月1日から 平成16年9月30日まで	平成15年4月1日から 平成15年9月30日まで
売 上 高	4,690	4,469
売 上 原 価	1,988	1,873
販売費及び一般管理費	2,077	1,990
営 業 利 益	624	605
営 業 外 損 益	21	14
経 常 利 益	646	619
特 別 損 益	△ 10	△ 24
税金等調整前中間純利益	636	595
法人税、住民税及び事業税等	254	265
少数株主利益(減算)	4	10
中 間 純 利 益	377	319

(注)1株当たりの中間純利益 当中間期 68円51銭
前年中間期 57円87銭

- 連結子会社 は76社、持分法を適用した子会社・関連会社は10社です。
- 前年 中間期に対する伸長率

売 上 高	4.9%	(海外売上高の換算為替差を除くと6.5%)
営 業 利 益	3.1%	
経 常 利 益	4.2%	
中 間 純 利 益	18.2%	
- 海外売上高 の連結売上高に占める割合は、26.4%で、前年中間期の割合に比べ1.0ポイントの減少となりました。

ポイント

売上高は、前年中間期に比べ220億円増加しました。営業利益は、販売価格の下落や原料価格の上昇、広告宣伝費の増加などによる販売費及び一般管理費の増加などがありました。売上高の増加やコストダウンなどにより18億円増加しました。中間純利益は、前年中間期に計上した土地の評価損がなくなったこと、法人税等の実効税率が下がったことなどにより58億円増加しました。

◆ 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:億円)

科 目	当中間期	前年中間期
	平成16年4月1日から 平成16年9月30日まで	平成15年4月1日から 平成15年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	591	520
税金等調整前中間純利益	636	595
減 価 償 却 費	272	273
持分法による投資損益(利益:△)	△ 10	△ 0
売上債権の増減額(増加:△)	△ 43	△ 16
たな卸資産の増減額(増加:△)	△ 74	△ 0
仕入債務の増減額(減少:△)	57	38
退職給付引当金の増減額(減少:△)	△ 62	△ 36
法人税等の支払額	△ 199	△ 291
そ の 他	15	△ 41
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 310	△ 135
有形固定資産の取得による支出	△ 266	△ 199
無形固定資産の取得による支出	△ 28	△ 55
その他資産増減額(増加:△)	△ 15	119
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 484	△ 419
社債・借入金の増減額(減少:△)	22	39
自己株式の取得による支出	△ 410	△ 369
配 当 金 の 支 払 額	△ 100	△ 95
そ の 他	4	7
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 8	5
現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	△ 212	△ 28
現金及び現金同等物の期首残高	1,071	756
新規連結子会社の現金及び現金同等物期首残高	—	26
現金及び現金同等物の中間期末残高	859	754

ポイント

営業活動による収入と、有形固定資産の取得を主とした投資活動による支出との差額では281億円の余剰となりましたが、財務活動において当中間期も引き続き自己株式の市場買付を行ったことなどにより、現金及び現金同等物の中間期末残高は前期末より212億円減少しました。

新製品のご紹介

ロリエ® エフ

肌ストレス※から、フリーになろう

生理時の肌ストレス軽減をめざした、新発想ナプキンの誕生です。「ロリエ エフ」は、新しい表面材「超吸収Fファイバー」によって、高い吸収力とやさしい触感の両立を実現しました。多い日は肌をカラリと清潔に保ち、少ない日は肌との摩擦を少なくして、1週間を通して快適に過ごせます。ストレスからの解放を望む現代女性へ、新たな心地良さをお届けします。

※ 肌ストレスとは、肌に残った経血や、こすれによる不快感のことです。



クリアクリーン® プラス 薬用デンタルリンス〈液体ハミガキ〉

健康で美しい歯、さわやかな息に

「クリアクリーン プラス」シリーズに、液体ハミガキが加わりました。「クリアクリーン プラス 薬用デンタルリンス (ライトミント/クールミント)」は、お口のすみずみまで届いて奥歯の溝や歯と歯のすき間にひそむ原因菌を殺菌し、むし歯と口臭を防ぎます。「クリアクリーン プラス ホワイトニング 薬用デンタルリンス」は、リンゴ酸が歯に染み付いた黄ばみ(着色汚れ)を浮かせ、つややかな白い歯を保ちます。



●ホームページのご案内

下記の当社ホームページでは、決算や新製品のお知らせなど、さまざまな情報を提供しております。ぜひご覧下さい。

<http://www.kao.co.jp>

●株式に関するお問い合わせ先(名義書換代理人)

〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
中央三井信託銀行株式会社 証券代行事務センター
TEL (03) 3323-7111 (代)

●お手続き用紙のご請求について

住所変更、名義書換請求、単元未満株式買取・買増請求及び配当金振込指定等に必要の各用紙のご請求は、名義書換代理人の下記のフリーダイヤル及びホームページにて24時間受け付けております。

☎0120-87-2031 (自動応答)

http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html

(注) 証券保管振替制度をご利用の場合は、お取引のある証券会社にお申し出下さい。

清潔で美しくすこやかな毎日をめざして

花王株式会社

この印刷物は、再生紙を使用しております。